

<Press Release>

2025 年 7 月 1 日

Amazon と三菱地所、名古屋市に物流拠点を新設

国内最大規模の地中熱空調や Amazon として世界初となる壁面太陽光発電を導入する
Amazon 西日本最大の拠点



Amazon（所在地：東京都目黒区）と三菱地所株式会社（所在地：東京都千代田区）は 7 月 1 日、愛知県名古屋市に Amazon の物流拠点（フルフィルメントセンター：FC）を今夏新設することを発表しました。本拠点は、三菱地所の施設「ロジクロス名古屋みなと」を Amazon 専用に設計し、延床面積は約 12 万 5 千平方メートル、商品保管容量は約 137 万立方フィートで、西日本で最大の FC となります。今年 8 月の稼働開始を予定しています。

本拠点では、Amazon と三菱地所が協働し、地中熱空調システムや壁面設置の太陽光発電設備など、より持続可能な施設運営のための技術を導入します。これにより、施設の運営に係る温室効果ガスの排出およびエンボディドカーボン（建築物の資材調達から輸送・建築・修繕・廃棄等、建築物の運用以外で発生する二酸化炭素）削減を見込みます。

また、本拠点は日本の建物として初めて、国際的な認証である International Living Future Institute（以下、Living Future）のゼロカーボン認証*1 取得を見込んでいます。その他、両社の協業により、職場環境や地域社会に配慮した設計となっています。

カーボンフリーエネルギーの最大活用

本拠点では、地中熱ヒートポンプを利用した空調システムを導入します。国内の地中熱利用では最大規模となる 200 本の地中熱交換器を実装し、地下 100m より安定した熱エネルギーを取り出します。これを 1 階部分の冷房および暖房に利用することで、低エネルギーで室温を快適に保ちます。本システムの導入により、従来の空調と比べて約 30% のエネルギー消費量削減が見込まれます。これは Amazon 全体の物流拠点においても先進的な取り組みです。

また、本拠点で使用する電力の一部を賄うため、建屋および駐車・駐輪場の屋根部分に太陽光発電設備を設置するとともに、Amazon として世界で初めて建屋の壁面（南側）にも太陽光発電設備を導入します。合計の発電設備容量は 5.5 メガワット(MW)となり、国内の物流施設に設置されているオンサイト型の太陽光発電としては最大級、Amazon のオンサイト型の太陽光発電としては米国外で最大の発電設備容量となります。さらに、蓄電容量 2.9 メガワット時(MWh)の蓄電池も併設し、雨天・曇天時や夜間でもカーボンフリーエネルギーを活用できます。

なお、本拠点は建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）において最高評価基準である 6 つ星を取得しています。



▲建屋の屋根および壁面に設置された太陽光発電設備のイメージ



▲地中熱利用システムのイメージ



▲FC の下で稼働する地中熱交換システム（地表付近）

低炭素型コンクリートの採用や雨水利用による水使用量削減の取り組み

資材の調達から廃棄およびリサイクルに至るまで、ライフサイクルで約 30%の温室効果ガス削減を見込むコンクリート素材*2 を建物基礎およびオフィス部分に採用しています。本拠点では雨水の利用も積極的に進めており、貯留槽に貯めた雨水をお手洗いなどで利用することで、同規模の従来の FC と比べて上水道の使用量を約 40%削減する見込みです。

Living Future ゼロカーボン認証取得に向けて

Living Future ゼロカーボン認証は、所定のプロセスに則り、12 か月間の運用データの評価を経て2026 年中に取得となる見込みです。国外では 2024 年 6 月に [Amazon の米国カリフォルニア州の施設](#)が、物流施設としては北米で初めて Living Future ゼロカーボン認証を取得しています。またオーストラリアでも、[Amazon の施設](#)が同国の物流施設として初めて同認証を取得しています。

働く機会の創出と安全な職場環境の提供

本拠点では、職場の安全・衛生管理者、商品の品質管理者、設備の保全管理者、テクノロジーを使って商品のピッキング・梱包・出荷作業などを担うポジションなど、さまざまな職種で数千の働く機会を創出します。物流施設などでの職務経験のない方も含め、あらゆる経歴をお持ちの方が活躍できる場を用意しており、定期的なトレーニングやスキルアップ機会の提供を通して、働く方々が学び、成長し続けられる環境を整えています。本拠点は自然光を多く取り入れた設計になっている他、カフェテリア、マザーズルーム（搾乳室）やプレイヤーズルーム（礼拝室）、バリアフリー対応のお手洗いを備えるなど、働く人々の心身の健康、そして包括性に配慮した作りになっています。また、従来の FC と同様、ロボットが商品棚を持ち上げて移動する「Amazon Robotics」や、紙袋の自動梱包機等のテクノロジーも導入し、業務を効率化することで、働く人々の業務をサポートします。

地域社会との共生

その他、地域社会に向けた取り組みとして、本拠点は名古屋市より津波避難ビル（津波に対する指定緊急避難場所）の指定を受けており、津波発生の恐れがある場合には、地域住民の方に一時的に避難していただくことを想定しております。また、敷地北側の一部を最寄り駅である荒子川公園駅からの歩行者用通路として一般開放する等、地域住民の方に配慮した計画としております。

アマゾンジャパン合同会社 ジャパンオペレーション代表 島谷恒平は次のように述べています。

「このたび、三菱地所様との協業により、愛知県名古屋市に新たな物流拠点を開設できることを大変嬉しく思います。西日本最大となる本拠点は、クライメイト・プレッジのコミットのもと、2040 年までのネット・ゼロ・カーボン（温室効果ガスの排出量実質ゼロ）達成を目指す Amazon にとって象徴的な拠点です。壁面太陽光発電や地中熱空調などの技術を導入し、温室効果ガスの排出削減に貢献します。また、最新のテクノロジーを活用し、これまで以上に安全で迅速、かつ効率的に全国のお客様に商品をお届けします。地域の働く機会を創出するとともに、引き続きお客様そして地球環境のために取り組みを進めてまいります」

三菱地所株式会社 代表執行役 執行役社長 中島篤は次のように述べています。

「当社は、『長期経営計画 2030』において、社会価値向上戦略と株主価値向上戦略の両輪を経営の根幹に据えており、サステナビリティビジョン 2050 で定める『Be the Ecosystem Engineers』を基本方針に、事業とサステナビリティの融合を推進しています。物流施設事業では、施設ブランド『ロジクロス』の信念である『MOVING TOMORROW 未来を動かす物流施設へ』のもと、地球環境や物流倉庫に関わる人に寄り添い、配慮した施設開発を推進しており、このたび Amazon 様とともに先進的な物流施設の開発に挑戦できたことを光栄に思います。当社は自動運転トラックなど次世代モビリティの受け入れが可能な高速道路 IC 直結の基幹物流施設等の開発も推進しており、持続可能な物流の実現に向けて新たな価値を提供してまいります」

Amazon のサステナビリティに関する取り組みは [こちら](#) をご覧ください。

*1 [Living Future ゼロカーボン認証](#)：世界初の第三者機関によるゼロカーボン認証基準。認証の取得には、当該の建築物がエネルギー消費量およびエンボディドカーボンの削減目標を達成することが求められます。また、新規に追加されたオンサイトおよびオフサイト型プロジェクトによる、100%再生可能エネルギーでの運営が求められます。

*2 低炭素コンクリート:コンクリートの従来の材料で、その製造過程で大量の二酸化炭素を排出するセメントの代わりに、製鉄所で排出される高炉スラグ等の産業副産物を用いて製造されたコンクリート。

以 上

別紙

■物件概要

物 件 名 称：ロジクロス名古屋みなと

所 在 地：愛知県名古屋市港区品川町二丁目 1 番 2・3・4・6、61 番 1・2、62 番 3・4

ア ク セ ス：（自動車）名古屋高速 4 号東海線「港明 IC」より約 3.5km

（電 車）名古屋臨海高速鉄道あおなみ線「荒子川公園」駅より約 0.3km（徒歩約 3 分）

敷 地 面 積：約 62,100 m²（約 18,700 坪）

延 床 面 積：約 125,200 m²（約 37,800 坪）

構 造：地上 4 階建、BOX 型、柱 RC・梁 S 造、耐震構造

用 途：BTS 型物流施設

建 築 主：名古屋みなとデベロップメント特定目的会社（三菱地所の特定子会社）

コンストラクションマネジメント：株式会社三菱地所設計

設 計：株式会社フクダアンドパートナーズ／株式会社フジタ

施 工：株式会社フジタ

着 工：2023 年 4 月 20 日

竣 工：2024 年 10 月 31 日

倉庫稼働開始：2025 年 8 月（予定）



▲広域図



▲狭域図

■三菱地所グループの物流施設事業について

グループ会社の株式会社三菱地所設計、株式会社東京流通センター、三菱地所投資顧問株式会社および三菱地所投資顧問が運用する三菱地所物流リート投資法人等と連携して、「用地取得・開発」「運営管理」「保有及びアセットマネジメント」の全てのフェーズに対応、入居企業からのご意見や現場で得た知見を即座に施設開発へ活かすなど、三菱地所グループによる一貫体制を構築しています。



▲施設ブランド「ロジクロス」
ロゴタイプ

なお、施設ブランド「ロジクロス」には、ロジスティクスの「ロジ」と、ヒト・モノ・ビジネスが交差する「クロス」の意味を込めており、「安全性」「快適性」「機能性」「柔軟性」の4つを軸として施設開発を進めています。

【開発済物件】

名称	所在地	延床面積	竣工時期
ナカノ商会辰巳センター (現：日本ロジ辰巳物流センター)	東京都江東区辰巳	約 31,500 m ²	2012 年 2 月
ロジポート相模原	神奈川県相模原市中央区田名	約 210,800 m ²	2013 年 8 月
ロジクロス福岡久山	福岡県糟屋郡久山町久原	約 40,000 m ²	2014 年 10 月
ロジポート橋本	神奈川県相模原市緑区大山町	約 156,600 m ²	2015 年 1 月
ロジクロス厚木	神奈川県厚木市上落合	約 29,900 m ²	2017 年 3 月
【冷凍冷蔵】ロジクロス神戸三田	兵庫県神戸市北区赤松台	約 14,500 m ²	2017 年 6 月
ロジポート大阪大正	大阪府大阪市大正区船町	約 122,000 m ²	2018 年 2 月
ロジクロス習志野	千葉県習志野市茜浜	約 39,100 m ²	2018 年 3 月
ロジクロス大阪 (旧：大阪西淀川物流センター)	大阪府大阪市西淀川区佃	約 38,300 m ²	2018 年 9 月
ロジクロス名古屋笠寺	愛知県名古屋市中区東又兵衛町	約 80,600 m ²	2019 年 1 月
ロジポート川崎ベイ	神奈川県川崎市川崎区東扇島	約 296,800 m ²	2019 年 5 月
ロジクロス横浜港北	神奈川県横浜市都筑区川向町字南耕地	約 16,400 m ²	2019 年 6 月
ロジクロス厚木Ⅱ	神奈川県厚木市上依知字谷戸坂上	約 35,100 m ²	2019 年 7 月
ロジクロス海老名	神奈川県海老名市中新田	約 64,200 m ²	2020 年 11 月
ロジクロス蓮田	埼玉県蓮田市	約 79,400 m ²	2021 年 3 月
ロジスタ・ロジクロス茨木彩都 B 棟	大阪府茨木市	約 31,200 m ²	2021 年 4 月
ロジスタ・ロジクロス茨木彩都 A 棟	大阪府茨木市	約 116,000 m ²	2021 年 5 月
ロジクロス春日部	埼玉県春日部市永沼	約 39,300 m ²	2021 年 5 月
ロジクロス船橋	千葉県船橋市南海神	約 23,700 m ²	2021 年 12 月
ロジクロス座間小松原	神奈川県座間市小松原	約 44,300 m ²	2022 年 3 月
【冷凍冷蔵】ロジクロス大阪交野	大阪府交野市星田北	約 20,800 m ²	2022 年 11 月

ロジクロス座間	神奈川県座間市栗原	約 178,700 m ²	2023 年 11 月
ロジクロス相模原	神奈川県相模原市中央区淵野辺	約 173,000 m ²	2023 年 12 月
ロジクロス名古屋みなと	愛知県名古屋市港区品川町	約 125,200 m ²	2024 年 10 月
ロジクロス厚木Ⅲ	神奈川県厚木市上依知	約 52,900 m ²	2024 年 11 月
【冷凍冷蔵】ロジクロス大阪住之江	大阪府大阪市住之江区柴谷	約 43,400 m ²	2025 年 3 月

【開発中物件】

名称	所在地	延床面積	竣工時期
【冷凍冷蔵】ロジクロス大阪大正	大阪府大阪市大正区平尾	約 21,400 m ²	2026 年 1 月
【冷凍冷蔵】ロジクロス大阪大正Ⅱ	大阪府大阪市大正区鶴町	約 45,400 m ²	2026 年 10 月
ロジクロス三郷	埼玉県三郷市彦糸	約 135,000 m ²	2026 年 8 月
（仮称）京都市城陽基幹物流施設開発計画	京都市城陽市東部丘陵地青谷先行整備地区（A 街区）	約 277,000 m ²	2026 年以降
（仮称）仙台長町基幹物流施設開発計画	宮城県仙台市太白区郡山北目地区	約 273,000 m ²	2030 年代前半